

『コンクリート充填鋼管(CFT)造技術基準・同解説の運用及び計算例等』2024年1月
第10版 第1刷、第2刷
正誤表

ページ・行	誤	正
第2章 「CFT造技術指針・同解説」((一社)新都市ハウジング協会)		
p.2-11 表 3.3-4 3行目	2/3 F_c と F_c の小さい方の値	2/3 cF_c と F_c の小さい方の値
p.2-13 15行目	$\theta = \cos^{-1} (1 - 2 cX_{n1})$	$\theta = \cos^{-1} (1 - 2 cX_{n1})$
p.2-15 1行目	$h_0/D \leq 6$ または $h_0/B \leq 6$ 、および ($h_0/D > 6$ かつ $L_k/D \leq 12$) または ($h_0/B > 6$ かつ $L_k/B \leq 12$)	$h_0/D \leq 6$ もしくは $h_0/B \leq 6$ 、または「 $h_0/D > 6$ かつ $L_k/D \leq 12$ 」もしくは「 $h_0/B > 6$ かつ $L_k/B \leq 12$ 」
p.2-27 28行目	一般的に速度は1m/分以下としている。	充填高さ速度は1m/分以下を原則とする。
p.2-54 2行目	鋼管柱の底部から1m以内になるような	鋼管柱の底部あるいは先行打込部のコンクリート天端から1m以内になるような
p.2-70 13行目	1) 自由落下による…	1) 落とし込み開始時の自由落下による…
p.2-140 4行目	(水セメント比 (C/W) が小さい) …	(水セメント比 (W/C) が小さい) …
p.2-140 9行目 11行目	水セメント比 (C/W)	水セメント比 (W/C)